

パブリックコメントで寄せられた意見の概要及び市の考え方

平成19年12月5日から平成20年1月3日までの間、かいづ健康づくりプラン（案）について意見等の募集を行った結果、4人の方から13件の意見をいただきました。これらの意見について適宜要約したうえ、それに対する市の考え方を次のとおり公表します。

かいづ健康づくりプラン（案）について 13件

意見の概要	件数	市の考え方
喫煙は、適切なリスク情報を承知した成人個人が、喫煙による影響を勘案しながら、自らの嗜好・健康観等に基づき「喫煙する、しない」を決めるべきもので、行政機関が喫煙者率の数値目標を掲げ、特定の方向へ導くようなことがあってはならない。	2	「たばこを吸う人の割合」の削減目標を掲げたことについては、国が策定した「健康日本21」に準じるもので、市では、自らの意志によって喫煙している人に対し、禁煙を強制するものではなく、禁煙を希望される方にその実現をサポートしていくことにより取り組んでいきます。
たばこ販売は、国の定めた基準に則した審査を受け、許可を取得したうえで行っているものであり、「販売や自販機の規制をする」等、販売について制限を受けることに憤りを覚える。	1	自販機等の規制については主に未成年者への販売を防止するためのものであり、たばこそのものの販売を制限するものではありません。 また、公共施設内では受動喫煙に配慮し禁煙を勧めるに当たり、自販機を撤去するものです。
たばこの売り上げは市の財政に大きな貢献をしており、毎年約2億円の税収となっています。このような重要な側面をもつたばこについて、その消費を半ば強制的に抑制しようとする施策は、市民として賛同できない。	1	喫煙人口の減少によるたばこ税の減収は財政上厳しいものではありませんが、市民の健康増進策を推進していくことも重要であると考えております。 したがって、たばこ税の減収と禁煙は別問題であると考えます。
環境中たばこ煙（喫煙者の吐き出す呼出煙とたばこの点火部から立ち上る副流煙が混じり合った総称）と健康影響が明らかでないなか、これが非常に悪い影響があるものとして市民の皆様には喧伝されることは、本来公正中立であるべき行政において、一方当事者に著しく偏重した対応と言わざるを得ない。 たばこの煙（副流煙）と健康影響の問題を指標として示されていることを再考いただきたい。	1	環境中のたばこ煙を吸い込む受動喫煙については、流涙・頭痛などの諸症状だけではなく、肺がんや循環器疾患等のリスクの上昇を示す疫学的研究があることは厚生労働省が健康増進法第25条制定の趣旨の中でも述べており、健康への影響については一般的な認識と捉えています。 また、市民アンケート調査や市民健康会議においても受動喫煙について心配をしているという意見が挙げられており、節度ある喫煙の意識をより多くの人に持っていただきたいと考えています。

<p>老若男女誰にでもできる「お手玉遊び」は、日本の古き良き伝承文化を継承しながら、ふれあいの輪が広がり一つの介護予防にもなると考えます。</p> <p>家族の絆や、ふれあいを大切にすることを育むためにも「お手玉遊び大会」を計画していただきたいと提案します。</p>	1	<p>「お手玉遊び」については関係各課と協議し、行事等への取り込みについて検討します。</p> <p>また、家族や地域等での今後の広がりも期待していきたいと思います。</p>
<p>「行なって」は「行って」が正しい。 (1ページ18行目)</p>	1	<p>ご指摘のとおり訂正させていただきます。</p>
<p>「乳幼児期」～「年金期」は、本文で使われている年代区分がばらばらなので「乳幼児期(0歳～6歳)」「学生期(小学生～高校・大学生)」「仕事期(就職時～退職時)」「年金期(年金受給～)」と説明を加えた方がよい。 (5ページ15行目)</p>	1	<p>「乳幼児期(0～6歳)」「学生期(小学生～高校・大学生)」「仕事期(就職時～退職時)」「年金期(年金受給～)」と訂正させていただきます。</p>
<p>「異常者」という表現は変えた方がよいのではないかと。 (27ページ2行目、28ページ15行目)</p>	1	<p>各々別の表現とさせていただきます。</p>
<p>「体重を量る」は「体重を計る」ではないかと。(48ページ12行目等)</p>	1	<p>文化庁「言葉に関する問答集」に、重さを明らかにする場合は、「量る」を用いるとあり、その表記に従っています。</p>
<p>今やいろいろなカウンセラーがあるので「心理カウンセラー」としたほうがよいのでは。(56ページ41行目)</p>	1	<p>ご指摘のとおり訂正させていただきます。</p>
<p>「百薬の長」という表現は妥当か。アルコールが百薬の長という科学的根拠やデータがあるのか。 (65ページ3行目)</p>	1	<p>わが国の男性を対象とした研究では、適度に飲酒する人が、全く飲酒しない人より死亡率が低いとする結果が報告され、諸外国でも、女性を含め、近似した研究結果が出ています。</p> <p>「百薬の長」という表現は、アルコールは飲み方次第で、優れた効果もありますという意味で、親しみやすい表現として使用しているものです。</p>
<p>飲酒を控えるのは、妊娠期だけでなく授乳期の場合も含めた記述にしたほうがよいのではないかと。また、たばこの場合はこの点を記述しなくてよいのか。</p>	1	<p>飲酒・たばこも、授乳期の場合も子どもに対する影響を考え、記述を改めさせていただきます。</p>